

令和6年4月15日(月)
(独)家畜センター
鳥取牧場業務課

令和6年度の鎌入れを実施

家畜改良センター鳥取牧場では、黒毛和種の改良増殖のため、約350頭の肉用牛を飼養しており、必要な粗飼料を毎年生産しています。

前月の中旬以降からは気温が上昇に転じ、牧草の生育も旺盛になり始め、4月11日にはイタリアンライグラスの極早生品種が出穂期を迎えていたため、今年度最初の収穫作業(通称、鎌入れ)を実施しました。

イタリアンライグラスの他にも、オーチャードグラス主体の混播牧草や、飼料用トウモロコシの収穫作業を10月頃まで予定しており、事故の無いよう安全な機械操作を心がけ、家畜のための良質な飼料生産に取り組めます。

